

学会ニュースNo.108 トピックス

- ・学会ホームページURLの変更
- ・2013年度(第68回)総会・研究発表大会プログラム
- ・立正地理学会研究委員会の募集(新規)
- ・第109回臨地研究会(沖縄)報告
- ・秋季例会(宮城)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)
- ・地理の書棚
- ・会費納入のお願い

会告

○学会ホームページ URL の変更

立正地理学会ホームページアドレスを変更しました。ご迷惑・不便をおかけしますが、修正をお願いします。

新アドレス: <http://geo.rissho-map.jp>

○2013 年度(第 68 回)総会・研究発表大会プログラム

日 時:2013 年 6 月 1 日(土)10:00 より

会 場:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ 2 階
A205 教室(口頭発表会場)・A204 教室(会員控室)

- 《口頭発表1》 10:00～11:20 *は発表者 発表時間:口頭発表 20 分(質疑応答を含む)
- 10:00～10:20 岡田 登(太田市役所):高崎市国府地区における伝統野菜生産の存続要因
- 10:20～10:40 初澤敏生(福島大)*・阿部豪幸(尚絅学院大):宮城県女川町における水産業復興の課題
- 10:40～11:00 伊藤徹哉(立正大):ドイツにおける広域連携組織の成立とその役割
- 11:00～11:20 高村弘毅(産業技術総合研究所・招聘研究員)*・Tashpolat, Tiyip (Xinjiang University, China):ペルシア淵源のアクア文化伝播ロードと生活形態—アクアロード形成過程の変化(1)—

《ポスター発表紹介》 11:20～11:30(各発表 1 分程度)

※掲示時間は 10:00～16:00, コアタイムは 13:10～13:50 とします。

- P1 河野 忠(立正大):日蓮水の研究
- P2 岩動志乃夫(東北学院大)・2012 年度発展実習受講学生(東北学院大・学):仙台市中央卸売市場の東日本大震災への対応
- P3 遠藤礼朗(立正大・学):富士川雁堤の水理模型製作と実験的研究による防災教育への可能性
- P4 戸田真夏(青山学院大・非):簡易な方法による「放射線汚染マップ」の作成例—続報—
- P5 船生泰寛・上田ひとみ・高松亮子・田部井裕之・谷本勇司・三上開拓・青木南美・箕輪千寛・杉山ユリア・安達俊平(立正大・学):松本市の地下水について

- P6 酒井拓明(立正大・院)*・荒川知樹(朝日航洋)・仲田 奨・和田浩介・清水泰雄・杉本紀明・若林大輝・時政大貴・竹内 弥・米俣佑基・岡崎俊亮・森永凌平・黒木 遼・佐々木拓馬(立正大・学)・原美登里(立正大):熊谷市星川通り周辺における建物構造
- P7 崎浜 靖(沖縄国際大)*・鈴木厚志(立正大):近代宮古・八重山諸島におけるマリア有病地の地理的環境
- P8 片柳 勉(立正大):持続可能な地域社会形成に向けた地域連携の取り組み—熊谷市妻沼地区における研究・教育活動—

《総会》 11:30~12:20 口頭発表会場で行います。

《昼休み》 12:20~13:10

《ポスター発表のコアタイム》 13:10~13:50

《口頭発表2》 13:50~14:50

- 13:50~14:10 河野 忠(立正大)*・箕輪千寛(立正大・学):秋田県大仙市に現存する「水板倉」の保温・保湿効果
- 14:10~14:30 谷口智雅*・朴 恵淑(三重大):ESD(持続発展教育)と地域環境学
- 14:30~14:50 島津 弘(立正大):インターバルカメラを用いた上高地梓川河道の地形変化および出水状況の通年観察

《休憩》 14:50~15:00

《口頭発表3》 15:00~15:40

- 15:00~15:20 松尾 宏(水土地域研究工房, 日水コン):近世の絵地図にみる中条堤
- 15:20~15:40 重見之雄:近代山口県平生塩田小史—塩田所有者の変遷を中心として—

《休憩》 15:40~16:00

《会長講演》 16:00~17:00 山中 進(熊本学園大):『地域論のすすめ』

《懇親会》 17:15~19:15 学生食堂(ステラ)1階で行います。

《地理写真展示》 ※掲示時間は 10:00~16:00

- G1 多田統一(都立浅草高校・非):身近な地域の景観写真—王子~駒込—
- G2 山谷 頌・松坂友貴人・岩田真輝・栗原哲也・高橋亮介(立正大・学):八丈島の火山地形と侵食
- G3 森本 拓・門間哲司・岡部将太・小柴圭史・中原和希(立正大・学):三宅島の自然景観
- G4 酒井拓明(立正大・院):知多半島師崎地区の景観と防災
- G5 遠藤弘士(立正大・学):淡路島野島断層—北淡路記念公園にて—
- G6 杉本紀明・北原勇貴・藤田 梓(立正大・学):北海道奥尻島におけるマスマーブメント
- G7 小林瑞輝・佐藤祐樹・田口健太(立正大・学):草津周辺・浅間山の自然
- G8 貝沼恵美(立正大):マニラ首都圏の地域的多様性
- G9 鈴木厚志(立正大):セントヘレンズ山—1995年と2012年の比較をとおして—
- G10 和田洸太郎・竹本大悟・後藤 侑(立正大・学):北海道函館市陸繋島の海と坂
- G11 清水泰雄・和田浩介・筒井晃将(立正大・学):北海道南西沖地震の津波災害と対策
- G12 新垣幸仁・緒方章人・仲田 奨(立正大・学):奥尻島 FW~段丘堆積物と地形~

○立正地理学会研究委員会の募集(新規)

2013 年度の研究委員会を募集します。希望者は下記に示した「立正地理学会研究委員会に関する規程」を熟読の上、規程の 5 の内容を明記した趣旨書を、長坂副常任委員長宛に郵送(住所等は最終ページに記載してあります)、またはメール(nagasaka@ris.ac.jp)で提出して下さい。7 月 31 日(水)を締切日と致します。ただし、研究委員は本学会会員に限ります。複数の応募があった場合は調整します。

立正地理学会研究委員会に関する規程

1. 委員会の設置:立正地理学会に、研究委員会をおくことができる。
2. 目的:研究委員会は、地理学の研究・教育に資する成果を挙げることを目的とし、その調査・研究に対して、学会より研究費を補助する。
3. 委員会の所轄:研究委員会の募集・決定・審査・成果の開示等に関する一連の管轄は、副常任委員長が行う。
4. 募集の説明:副常任委員長は、当該年度の総会時において募集内容・提出期限について説明する。
5. 委員会の設立:委員会の設置を希望する会員は、委員会の代表者となり、研究テーマ、会員名(5 名以上で組織する)、募集人員、研究期間、研究の目的、予測される成果を明記して、副常任委員長に提出する。
6. 委員会の募集:副常任委員長は、提出された代表者名、研究テーマ、研究期間、募集人員等を学会ニュース、学会ホームページに掲載し、委員を募集する。
7. 委員会の成立:副常任委員長は、会員の応募状況をもとに委員会の成立の可否を検討し、その成果を代表者に伝える。
8. 委員会の発足:成立をみた委員会は、代表者が中心となって活動を行う。
9. 委員会の年限:委員会の活動期間は2年とする。ただし、その後1年間の延長を可とする。その場合、委員会の代表者は研究の中間報告書と延長する理由書を、副常任委員長に提出しなければならない。
10. 研究費は、1 研究会に対して年額 5 万円を上限とする。
11. 会計報告:会計年度は、立正地理学会の会計年度に準じる。研究期間内の途中にあつては、当該年度の収支報告書に領収書を添えて、副常任委員長に提出しなければならない。
12. 委員会の終了:研究委員会の終了時には、終了報告書と領収書を添えた収支報告書を副常任委員長に提出しなければならない。
13. 成果の公表:研究委員会の活動中にあつては、立正地理学会研究発表大会等において、中間報告を行うことが望ましい。なお、研究委員会終了後は、口頭発表のほか、『地域研究』にその成果を投稿するものとする。

(副常任委員長 長坂政信)

○第 109 回臨地研究会(沖縄)報告

2012年12月9日(日)、赤嶺政信先生(琉球大)、前門 晃先生(琉球大)、小川 護会員、上江洲 薫会員、崎浜 靖会員の案内により、第109回臨地研究会が沖縄県の久高島において行われた。テーマは「久高島の祭祀空間と地域振興」、参加者は26名であった。

当日は、那覇市の「パレットくもじ」前から貸し切りバスで出発、安座真港へと向かった。市街地を過ぎると車窓にはサトウキビ畑が広がり、ここが南国であることを実感することができた。道中、車窓から観察できる都市や農業の特徴について、小川会員や上江洲会員、崎浜会員からの説明があり、参加者は写真撮影やメモをとるなどし、久高島へ至るまでに、近年の沖縄県の様子について見識を深めることができた。途中、安座真港の手前の久高島を遠望できる場所で下車し、これから訪れる島の様子を観察することができた。やや霞む先に見えた久高島は、起伏が少なく平坦な印象であった。

安座真港を10時に出港するフェリーに乗り、久高島へと向かった。島では、現地案内者の内間佑二氏にもご一緒していただいた。島内では徒歩で移動し、案内者の方からご説明いただいた。赤嶺先生には、沖縄の神話と久高島の関係、久高島の土地制度、集落の成り立ちや家屋配置、住民の空間認知、本土と沖縄との文化的な同一性や差異について詳細なご説明をいただいた。前門先生からは、島の地形的特徴を中心に、海岸の特徴や土壌などについて、詳しくご説明をいただいた。内間氏からは、住民の方々の島に対する思いや考え方、伝統的な食文化について教えていただいた。

久高島からの帰りは、行きとは異なって、うさぎが飛ぶ中を高速船で安座真港へと戻った。その後、バスで移動し、那覇空港と「パレットくもじ」前で解散となった。

今回の臨地研究会では、久高島を通して沖縄における祭祀空間について知見を広めることができた。また、島における慣習について、現地の方から直接お聞きする機会を得ることができ、貴重な時間を過ごすことができた。最後ではありますが、ご案内いただいた赤嶺政信先生、前門 晃先生、小川 護会員、上江洲 薫会員、崎浜 靖会員、内間佑二氏の6名には記して厚くお礼申し上げたい。



久高島にて(鈴木厚志会員・酒井拓明会員撮影)

(集会委員 松尾忠直)

○秋季例会(宮城)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)

第37回立正地理学会秋季例会ならびに第43回講演会(予定)を11月9日(土)に、第110回臨地研究会を11月10日(日)に、東北学院大学泉キャンパスにて実施する予定です。詳しい日時・場所・発表申込みに関するご案内は、7月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp>)にてお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

(集会委員会)

○地理の書棚

貝塚爽平著 『東京の自然史』

講談社学術文庫 2011年発行
サイズ:A6版 ページ数:327
定価(税込み):¥1,103 ISBN:978-4-06-292082-7

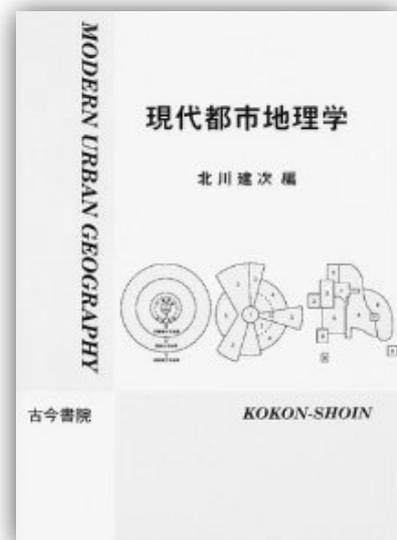
1964年に出版された名著の増補第二版の復刻文庫版である。東京を中心とした関東の自然がどのようにになっているのか、どのように形成されてきたのかについて、わかりやすく述べられている。最初の出版から50年近く、増補第二版以降40年近くたち、さまざまな技術の進歩によりデータが蓄積されたり、年代値(何万年前という)が変更あるいは詳しくなったりはしているが、事実の大枠は変わっていない。この本を読んで、東京を是非歩いてほしい。(島津 弘・立正大)



北川建次編 『現代都市地理学』

古今書院 2004年発行
サイズ:A4版 ページ数:211
定価(税抜き):¥2,600 ISBN:978-4772230445

都市の概念から始まり、立地と自然環境、成立過程、都市システムや都市計画に至るまで、都市地理学分野における主要なトピックを平易に解説している。学問的な入門書として最適であるだけでなく、建設・都市計画分野に携わる者にとっても、都市の多様性と一般性を理解し、複眼的に都市を捉える見方や考え方のきっかけを与えてくれる一冊といえる。(伊藤徹哉・立正大)



○会費納入のお願い

2013 年度分の会費は、同封致しました払込取扱票にて納入いただくか、立正地理学会総会・研究発表大会当日に、受付にて納入たまわりたく存じます。また、今回の学会ニュースには「会費納入状況のお知らせ」を同封しましたのでご確認ください。過年度分の会費が未納の方は、あわせてご納入願います。会費の金額および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000 円 学生会員 2,500 円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキョウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

○編集後記

2013 年 3 月末に日本地理学会春季大会が立正大学熊谷キャンパスで開催されました。のべ 2000 人以上が、研究発表やシンポジウムのために来校し、会場は大変な賑わいでした。また、同時開催された田中啓爾文庫の展示にも、多くの来訪者がありました。これら方々には、近年の再開発できれいになったキャンパスをご覧いただくとともに、咲き誇る桜に、春の季節を感じていただけたかと思えます。夏に向けて、一層緑が生い茂る季節になってきました。6 月の立正地理学会への会員皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

(広報委員・酒井 拓明)

立正地理学会ニュース No.108

2013年5月10日発行 編集者 立正地理学会広報委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453